

Eスクエア・プロジェクト 平成13年度 学校企画実施計画書

秋田市立川尻小学校

1. 実施計画のテーマ

主題：「生きる力」を育てる授業づくりを支援するWebページの改善・開発と活用

副題：インターネット環境，LAN環境を活用した実践交流の在り方を求めて

2. 実施計画のねらい

学級担任による指導の充実はもとより，担任のみでは対応できない学習活動を組織し実践していくため，担任外の教師の持つ専門性や特性の活用等，学校の教育資産を積極的に生かした指導の工夫が求められている。このような取り組みでは，チーム構成員が，「いつ」「どこで」「どう」子供たちとかがわって行けばよいのかを見極めることが重要なポイントとなる。子供たち一人一人の学習スタイルや既有体験，問題意識の在り方等々についての確かな理解が指導を構想し実施する際必要になってくるからである。このため，事前打ち合わせや学習の進行状況に応じた関係者相互の情報交換が必要不可欠になってくるが，この過程を如何に効率的に行うかが全国津々浦々の学校における課題となっている。

当校では，このような現実的課題を克服し，一人一人に応じた適切な支援活動を可能とするため，「総合的な学習の時間」（「かしわっ子タイム」）を中心として，指導活動・学習活動を支援するデータベースの開発と活用に取り組み，このような現実的課題を克服すべく取り組んできた。

単元計画，単位時間の展開例，使用教材，子供の様子等々，これまでデータベース化してきた単元は，各学年とも，「総合的な学習の時間」や生活科は，6～8単元（延べ時間80～100時間分程度），理科・社会は6単元70時間程度である。

今年度，今回，このような取り組みの上に立ち，LANやインターネットといったネットワーク環境を活用しながら，以下の事柄に取り組むことで，「自主性・協力性に富む，個性的で創造的な子供」，「生きる力」のある子供をはぐくむ実践展開に取り組んでいる。

この取り組みにより，学校の人的資源や実践情報が効果的に活用されきめ細かな支援活動が可能となることはもちろん，日々学校で行われている授業や活動，あるいはPTA活動から出てくる実践情報を外に開くことで，同様の課題をもって実践の在り方を工夫・改善している学校相互の実践交流を促進し，それぞれの学校が置かれた環境や特性を生かした教育活動，あるいはPTA活動をより個性的かつ創造的なものにしていくことに寄与することになると考える。即ち，インターネット環境・LAN環境を生かした「開かれた学校づくり」の在り方を具体的に示すモデルとなる取り組みでもあると考える。

- (1) **指導活動を支援するデータベースの改善と活用事例の充実**（LAN環境を活用しながら，次の3(1)に示した教科や時間において，実施した授業の単元計画，単位時間の展開例，使用した資料，授業における子供の姿等をデータベース登録していく。この際，インターフェース等，使いやすさも併せて改善していく）
- (2) **学習活動を支援するデータベースの改善と活用事例の充実**（LAN環境を活用しながら，次の3(1)に示した教科や時間において，実施した授業で子供が使用したテキストデータや映像データ（静止画，動画等）等をデータベース登録していく。この際，使用するデータはオリジナルのものを使用し，インターフェース等，使いやすさも併せて改善していくようにする。）
- (3) (1)，(2)を踏まえた**WEBページの改善・開発とこれを活用した実践交流の在り方の工夫**
教育課程における活動を中心とするが，それとの関わりでPTA活動も取り上げる。また，このWEBページは，(1)，(2)のデータベースとリンクしているが，誰もがすべてのデータに直接アクセスできるわけではない。アクセス権をレベル分けし，必要に応じたアクセスのみ可能としている。年間指導計画，単元計画，単位時間の展開例等，プライバシーが問題にならないものには基本的に誰でもアクセスできるが，プライバシーに対する配慮を要する事項は外部に出さないようにしている。

3. 実施計画概要

(1) データベース開発及びこれを用いた実践の対象

この実践の取り組みの対象となる教科や学年は以下のとおりである。

- 生活科：1・2年
- 「総合的な学習の時間」（「かしわっ子タイム」）：3年～6年
- 社会科：3年～6年
- 理科：3年～6年
- 特別活動（クラブ活動）：4年～6年
- P T A活動（専門部活動の様子、会員の投稿文等々）

(2) 実施事項概要

データベースの改善・開発，W e b ページの改善・開発は，Excel ， Word ， Access ， Adobe Publishing Collection (Acrobat4.0 等) 等を用いて行うが，この際，インターネット環境，L A N環境を有効に活用しながら行う。

「指導活動を支援するデータベースの改善と活用事例の充実」について

(ア) 「指導活動支援データベース」の改善と活用

平成15年度からの学習指導要領完全実施に向けて，これまで開発してきたデータベースの構造と機能を使いやすいものに改善するとともに，まだデータベース化されていない実践データ（単元指導計画，単位時間展開案，及び，指導に用いる資料等）や新たに行われる実践から出てくるデータ（年間指導計画，単元指導計画，単位時間展開案，及び，指導に用いる資料等）をデータベース化する。

この際，これまでの実践において蓄積してきたものは，子供の実態等に合わせて展開の在り方を改善したり，活動支援資料を付加したりしながらより効果的なものにしていく。

(イ) 「ふるさと先生」データベースの改善と活用

現在60名を越える地域の方々に「ふるさと先生」として登録して頂いている（保護者で「ふるさと先生」のような活動をしている方を数えれば，80名はすぐ越える）。これまでは，専門性のある得意な分野ごとに，その先生の特長がわかる説明（テキスト文）のみ取得できるものであった。今回，彼らが所持している資料や映像，過去にかかわった実践事例等も登録し，即座に検索したり，新たな事例を登録できるように改善する。

(ウ) 「児童理解支援データベース」の開発と活用

子供たちの個性的な取り組みを効果的に支援していくためには，一人一人について，その学習状況，身体状況（身体測定データ等も），学校における行動・活動の様子（委員会活動，クラブ活動等），生徒指導的な情報等を正しくとらえておくことが必要である。求めに応じてこれらの情報を検索したり，学習場面等で取得した新たな情報を登録できるものにする。このデータベースへの登録は誰でも出来るが，検索にはチェックが入るようにする。

これは，基本的に外部に非公開である。ただ，個人が特定できない記述の仕方で，学習指導に関する具体的な情報を交換する際，「学習場面での子供の反応や様子を判断する資料」として個人が特定できないように再構成してW E B からアクセスできるようにしておく。

「学習活動を支援するデータベースの改善と活用事例の充実」について

(ア) 「学習成果データベース」の改善と活用

子供たちの学習活動から出てくる成果（調査報告書，観察・実験結果，造形作品等）を登録したり，他の学習場面で検索して活用したりできるものである。納得が行けば，他の子供たちが閲覧できる部分に登録し他の子供たちの学習資料とすることもできるものである。

(イ) 「学習素材データベース」の改善・充実と活用

川尻地区やその周辺の自然，歴史，文化，社会施設等に関するテキスト，静止画像，動画に

よるデータ、音声データ等々を登録・検索できるものである。

これまでは、地図からのみ検索・登録ができるのみであったが、使いやすさを考慮し、年表等からも検索・登録ができるようにインターフェースを改善し、低学年でも活用できるようにする。

、を踏まえたWEBページの改善と実践交流の在り方の改善・開発について

「どんな子供」に、「どんなメディア」を用いて、「どう」かかわって行けばよいのか等、データベースを活用しながら行った授業や活動の様子をWebページやTV会議システム（Phoenix, Net Meeting 等）を介して公開する等、実践交流を積極的に行いながらデータベースの機能と活用の在り方を開発していく。

平成13年度以降の取り組みについて

13年度以降も、データベースのソフトウェアとしての機能を改善していくと共に、照会に対応できる実践例の種類・数を増やしていく。もちろん、これらで活用できるシートや学習材も充実させていく。なお、このデータベース及びそれに基づいたWEBを介した実践交流の在り方を関係の研究会や学会で発表したり、関係誌に掲載したりすることで関係者の検討を経てより効果的な支援の在り方として仕上げていきたい。

4. 実施体制

(1) 実施体制

研 究 組 織	氏 名	職 名	役割分担（研究実施計画に対する役割分担）
	田口 隆	教 頭	・研究の全体指導，予算管理
	高橋 真	教諭（教務主任）	・研究のスケジュール管理，研究検討会の主宰 等
	佐藤 好久	教諭（研究主任）	・研究のスケジュール管理 ・WEBの改善と活用法の開発 等
	柴田 祐子	教諭(情報教育主任)	・指導活動支援データベースの改善と活用法の開発及び活用事例のまとめと登録 等
	藤谷 健一	教諭（視聴覚主任） （特別活動主任）	・WEBの改善と活用法の開発及び活用事例のまとめ 等
	工藤 加奈子	教諭(社会科主任)	・「ふるさと先生」データベースの改善と活用法の開発及び活用事例のまとめと登録 等
	工藤 圭文	教 諭	・児童理解支援データベースの改善と活用法の開発及び活用事例のまとめと登録 等
	石井 良征	教 諭	・WEBの改善と活用法の開発及び活用事例のまとめ 等
	黒沢 恵理子	教諭(理科主任)	・学習素材データベースの改善と活用法の開発及び活用事例のまとめと登録 等
	佐々木 智子	教諭(生活科主任)	・学習成果データベースの改善と活用法の開発及び活用事例のまとめと登録 等
	佐々木 洋士	主任主査	・WEBの改善，予算執行 等
	合 計	11 名	

(2) 実施スケジュール

- ・ ~ 6月：研究態勢の確立，データベース及びWEBページの改善点の明確化と改善計画確定
- ・ 6月～7月末：各種データベースの改善と実践のデータベースへの登録，WEBページの改善作業開始
- ・ ~ 8月末：データベースデータを活用したWEBの改善・更新，及び，これを活用した交流活動の開始

- ・ ~ 12月上旬：データベース活用及びWEBによる実践交流における改善課題の明確化と対応策の検討
データベース部分の機能改善箇所やWEBページ機能の改善箇所等の明確化，交流活動において工夫・改善すべきこと等の明確化等々
- ・ 12月末：研究の総括と改善課題の明確化，研究報告書作成（1月25日提出予定）
- ・ 1月中旬：研究総括に基づく次年度研究計画の立案
- ・ 3月上旬：成果発表会で発表
- ・ ~ 3月末：データベース機能及びWEB機能の改善と登録データの充実
この研究において，データベース及びWEBページの小さな改善は基本的には絶えず行っていく。前述のものは，大きな変更についてである。

(3) **実施環境** 今回の企画に関する支援により，校舎内のどこからでもLANを介してインターネット接続が可能となった。